

奈良県議会がん対策推進議員連盟 がん患者会との懇談会 次第

日時：平成29年12月20日(水)

10:00～

場所：第1委員会室

1 開 会

2 挨拶

3 議員の自己紹介

4 がん患者会の紹介

5 議 題

(1) 第3期奈良県がん対策推進計画について

(2) 奈良県議会がん対策推進議員連盟の取組について

(3) がん患者会と奈良県議会がん対策推進議員連盟の懇談会

6 閉 会

がん患者会と奈良県議会がん対策推進議員連盟との懇談会

がん患者会 出席者名簿

	団 体 名	氏 名	備 考
1	奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会	浦嶋 偉晃	会長
2	奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会	末広 貴子	副会長
3	奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会	加古 明美	事務局
4	奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会	西村 やよひ	会計
5	あけぼの奈良	吉岡 敏子	代表
6	あけぼの奈良	西山 きよみ	副代表
7	日本オストミー協会奈良県支部	本間 昌明	支部長
8	日本オストミー協会奈良県支部	山本 隆文	副事務局長
9	奈良交声会	中井 富雄	会長
10	奈良交声会	小山 一司	副会長
11	NCN (奈良がんネットワーク) 若草の会	西垣 京子	代表
12	NCN (奈良がんネットワーク) 若草の会	神田 裕美子	役員
13	奈良がんピアサポートなぎの会	松浦 博子	会長
14	奈良がんピアサポートなぎの会	辻本 由香	会計役員
15	飛鳥の会	大久保 光幸	会長

奈良県議会がん対策推進議員連盟名簿

役職	氏名	会派	備考
会長	小泉米造	自民党奈良	
副会長	井岡正徳	自由民主党	
副会長	和田恵治	創生奈良	
幹事長	田尻匠	民進党	
幹事	大國正博	公明党	
会計	今井光子	日本共産党	
監事	川口延良	自民党	
監事	佐藤光紀	日本維新の会	
顧問	岩田国夫	自民党奈良	
	亀田忠彦	自由民主党	
	池田慎久	自由民主党	
	猪奥美里	民進党	
	山中益敏	公明党	
	松本宗弘	自民党	
	中川崇	日本維新の会	
	川田裕	日本維新の会	
	田中惟允	自由民主党	
	藤野良次	民進党	
	森山賀文	民進党	
	岡史朗	公明党	
	西川	自民党奈良	
	小林照代	日本共産党	
	清水勉	日本維新の会	
	松尾勇臣	日本維新の会	
	阪口保	創生奈良	
	中野雅史	自由民主党	
	安井宏一	自由民主党	
	奥山博康	自民党奈良	
	荻田義雄	自民党奈良	
	乾浩之	自民党奈良	
	太田敦	日本共産党	
	宮本次郎	日本共産党	
	山本進章	創生奈良	
	国中憲治	自由民主党	
	米田忠則	自由民主党	
	出口武男	自由民主党	
	新谷紘一	自由民主党	
	粒谷友示	自民党奈良	
	秋本登志嗣	自民党奈良	
	中村昭	自民党奈良	
	山村幸穂	日本共産党	
	梶川虔二	創生奈良	
	川口正志	創生奈良	

計 43 名

奈良県議会がん対策推進議員連盟

1 設立の趣旨

奈良県では、平成21年10月に総合的ながん対策を県民とともに推進することを目的として、議員発議による「奈良県がん対策推進条例」が施行され、計画的ながん対策の取組がすすめられる状況のなか、奈良県議会においても、平成22年度から、がん検診受診率向上の取り組みとして「奈良県がんと向き合う日」の啓発活動などを行ってきたが、奈良県のがん対策を今後さらに推進することを目的として、議員連盟を設立。

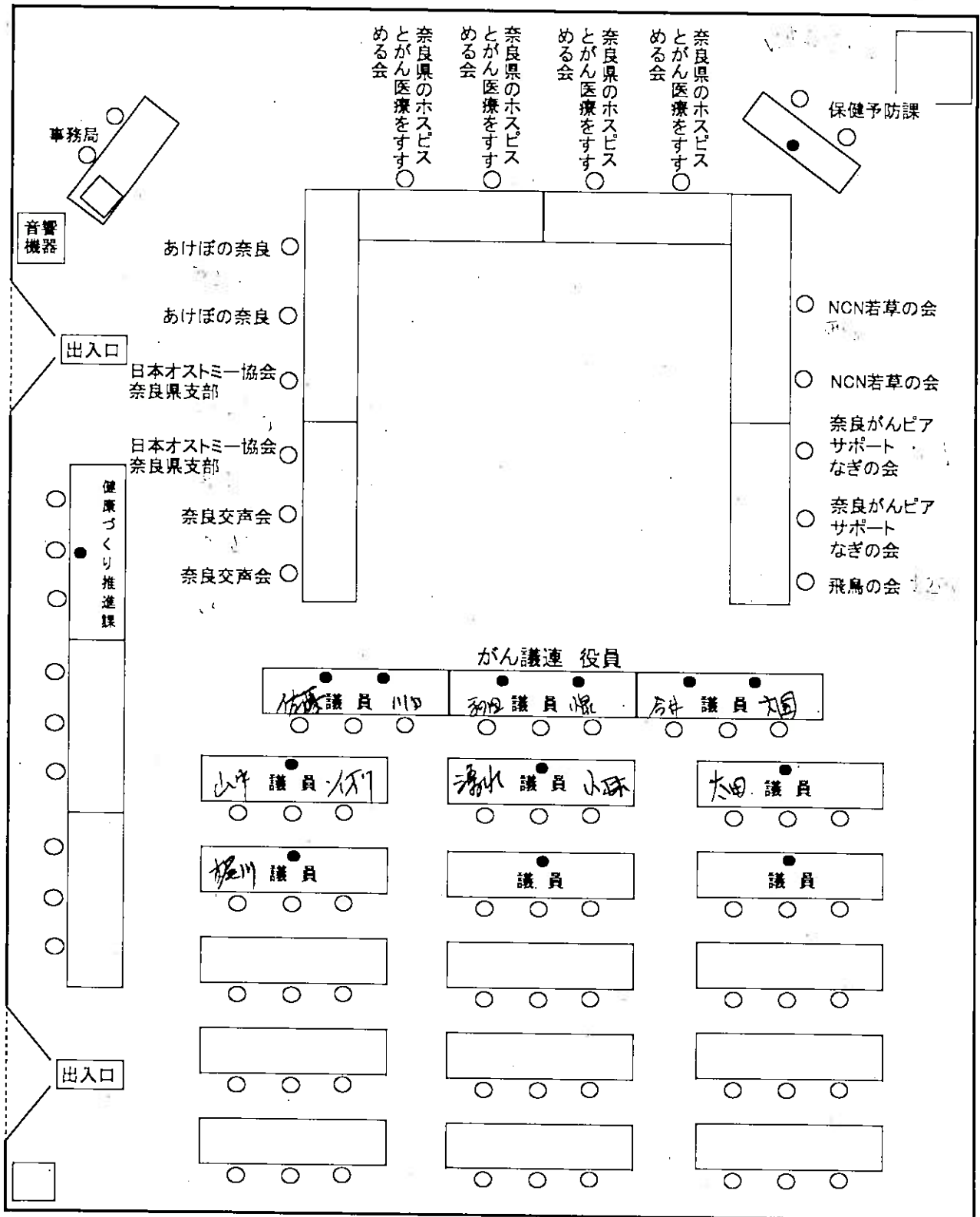
2 概要

- ・設立年月日：平成24年9月19日 ✓
- ・加入者数：全議員（43名）
- ・事業内容：①がん対策推進に関する調査及び研究
②がん対策推進に関する啓発及び普及
③がん対策推進のための活動
④その他議員連盟の目的を達成するために必要な事業

3 平成29年度の活動

H29. 5. 19~20	第14回がん政策サミット 〔ヒューリックカンファレンス(東京)〕 議員3名参加
H29. 6. 15	奈良県議会がん対策推進議員連盟 役員会
H29. 8. 9	奈良県議会がん対策推進議員連盟 役員会
H29. 9. 13	奈良県議会がん対策推進議員連盟 役員会
H29. 10. 10	「がん検診を受けよう！県民大会」街頭キャンペーン、総会 〔近鉄西大寺駅周辺〕 議員6名参加
H29. 10. 14~15	リレー・フォー・ライフ・ジャパン奈良 〔天理駅前コフフン〕 14日 議員7名参加、15日 議員2名参加 協賛金 100,000円
H29. 12. 1	奈良県議会がん対策推進議員連盟 役員会
H29. 12. 2	ホスピス講演会「がんは人生を二度生きられる」 〔奈良県文化会館〕 議員3名参加
H29. 12. 20	がん患者会と奈良県がん対策推進議員連盟との懇談会

懇談会 座席表



懇談会 9572

「がん患者会との懇談会」でのお願ひ事項



奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会
会長 浦嶋偉晃

本日は、お忙しい中、県議会議員諸先生方に貴重なお時間をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

① 小児、AYA 世代等の各世代に対応できる相談窓口の検討（情報収集・研修会）と整備
現状、県内では特に「小児がん」では情報や相談場所、また患者や親同士の交流の場所が殆どないのが現状かと思ひます。

そのため、そういう場を求める声が多く、相談体制の充実が必要です。

一方で小児や AYA 世代のがんは、患者数が少ない反面、疾患構成が多様であり、医療従事者に経験が蓄積されにくい傾向にあります。

また、幅広いライフステージで発症し、治療後の療養期間が長く、発育や教育に関する取組が必要となるなど、成人のがんとは異なる対応が必要です。

奈良県立医科大でも、入院しているお子さんには、お母さんが泊り込みで、ケアしているようです。というより看護師さんの手が無いということです。またその事により、他の兄弟への世話ができないという大きな問題があります。また入院設備は県内で県立医大のみと聞いております。

また小児在宅に対しても、訪問看護も小児に訪問するステーションはまだまだ少ない現状です。

小児は怖い、特殊な医療技術。スキルが必要、また、母親とのコミュニケーションが大変。

重症の小児…呼吸器をつけている小児は、体調が安定せずに直ぐに入院する事が多く、ステーションの経営に影響する…等の理由が考えられます。

小児の訪問を担当する事は、その子の成長、発達、療育に責任を持つ必要があり、忙しいからいけない、やめたいとは、言えない…違った責任がかかります。

医大を中心として、各保健所で、相談所、交流場所のような取り組みができないでしょうか？

県内で「暮らしの保健室」も少しずつ増えています、まだまだです。

こういうところへの人的、資金的援助もお願いしたいです。

マガーズ東京の奈良地域版が出来れば良い。

② 各病院の医療情報の開示、提供

現在、がんに罹患しても、どこでどのような治療を受ければよいのか分かりません。

国立がん研究センターの情報では、載っていますが、その情報まで辿り着くのは難しいです。

ネットを検索しても、情報が錯綜しているので、どれが正しいのか分かりません。

これには各病院の協力が不可欠で、数字で診療情報を分かりや易く開示する方法を検討頂きたい。是非、各病院へのご協力の働きかけをお願いします。

出来れば、その情報を小冊子で作り、毎年更新するのが良いと思ひます。

もちろん有価で販売する。但し安く（200 円くらい）

患者、そして家族にとって正確で、選びやすい情報の提供が必要です。

以上

②

奈良県議会がん対策議員連盟との意見交換会資料

平成29年12月20日

あけぼの奈良 代表 吉岡 敏子

副代表 西山 きよみ

○今年もがん患者との交流会を開いていただき誠にありがとうございます。

○今年度は東京で行われた「がん政策サミット」2017春（5月19日～21日）にお忙しい中、がん議連の会長小泉米造先生、会計の今井光子先生、そして岡史朗先生にご出席していただきありがとうございました。また先日の2017秋（10月6日～8日）には衆議院議員の総選挙の前でもあり無理のようでしたが、このように議会、医療提供者、行政担当者、患者関係者、それぞれが協働してがん対策を進めて行こうとしています。

奈良県は先ほどの議会の先生方、医療提供者（医大の長谷川先生）、行政担当者（保健予防課戸毛参事・大井係長・下良主査）患者代表（奈良県のホスピスとがん医療をすすめる会会長浦嶋さん・NCN若草の会代表西垣さん・あけぼの奈良代表吉岡）が参加して、職種の違う立場から多くの参加者で他府県からは羨ましく思われています。

○第5回目となるリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 奈良（10月14日・15日）への協賛をいただき、また選挙直前にもかかわらず、ご参加誠にありがとうございました。

今年は実行委員長が変わり会場も郡山から天理へと変更になり、体制を整えるのに時間がかかりましたが、駅前広場のコフンをお借りしてみなさまのご協力のお蔭で無事終わることができました。ありがとうございました。駅前ということもあり「リレーフォーライフ」を知らない人達もなにをやっているのだろうと覗いてくれて、大きな啓発ができたと思っています。

[要望]

① 受動喫煙の防止等に関する条例

保健予防課のがん対策係のみなさんにご苦勞をかけました第3期がん対策推進計画は「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念にかかげて「案」ができて、もうすぐパブリックコメントの募集と聞いております。

しかし「がんの予防」には一番に禁煙があげられ、受動喫煙の防止を一層推進する必要があります。受動喫煙の機会にあう人の割合は、飲食店 49.4%、職場 40.1%、家庭 14%、行政機関 12.8%や医療機関 7.9%で依然として多くの人を受動喫煙にあっています。国は2020年オリンピックに向けて受動喫煙防止対策の強化の法改正が検討されています。県でも国の動向を見ながら県民に周知・啓発を行うとなっていますが、神奈川県や兵庫県のように「受動喫煙の防止等に関する条例」を作っていただきたく願います。

奈良県議会がん対策推進議員連盟とがん患者会との懇談会資料

平成 29 年 12 月 20 日

公益社団法人日本オストミー協会 奈良県支部

支 部 長 本間 昌明

副事務局長 山本 隆文

本日は県会議員先生にはご多忙にも関わらず、各がん患者団体との意見交換会の場をもうけて頂き誠にありがとうございます。

オストミーとは消化管や、尿路を人為的に対外へ誘導して増設した開放孔。前者を消化管ストーマ（人工肛門）後者を尿路ストーマ（人工膀胱）といいます。

先ずは昨年度懇談会において、災害時の装具及び専用簡易トイレの窮状を説明いたしましたところ、2017年1月20日の議会で取り上げて頂いたおかげをもちまして、全市町村ではないですが、装具及び専用簡易トイレの備蓄が進んでおりますことご報告いたします。

奈良県ではがん検診をうけようのキャンペーンをなされていますが、奈良県内市町村別膀胱・直腸機能障害手帳所持者 2015年7月現在 2,596名 2017/年9月現在 2,710名と約2年間で114名増加しております。検診では大腸がんは一番発見しやすいがんではありますが、便潜血検査では非常に見つけにくく、大腸カメラで早期発見が可能です。毎年ではなく3年間隔位で良いので、大腸カメラの検診を推進していただきたいと思います。

私たちオストメイト（人工肛門・人工膀胱造設者）はがんの再発と装具の取り扱いに悩んでいます。がんの再発がなくても、三つの不安があります。外出時の不安、災害時の不安、老後の不安です。奈良県支部では、誰でも抱えているこれらの不安解消のための活動に取り組んでおります。

★介護職等対象のストーマケア研修について

これらの不安解消については、行政の格別なるご理解とご支援により、解消に向けて日頃から鋭意取り組んでいただいております。深く感謝申し上げます。その中でも、老後の不安の解消について、介護職等対象のストーマ研修などの取り組み促進をお願い申し上げます。

オストメイトが高齢により、在宅で寝たきりになり、ストーマ装具の交換が自分でできなくなったとき、家族以外に頼れるのは在宅介護の介護職や訪問看護師しかありません。従来、ストーマ装具の交換は医師法に規定する「医療行為」と解釈されてきたため、医療従事者以外には出来ないとされてきました。これについて、日本オストミー協会では、平成23年6月に「ストーマおよびその周辺の状態が安定している場合等専門的な管理が必要とされていない場合は原則として医療行為には該当しない」との見解を厚生労働省に求めました。これに対して、厚生労働省は医事課長見解でようやくこれを認めましたが、その前提として「業務として実施するものは一定の研修や訓練が行われること」との条件を付しました。このため、介護職等へ研修の取り組みの依頼をいたしておりますが、施設側の経済的、物理的に負担が大きくなるため、なかなか進展しない状況です。

兵庫県、大阪府では既に各病院において、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）が主催者となり介護職等（介護職、一般看護師、施設職員等）を対象にストーマ研修（講義・ケア実習）が行われています。

オストミー奈良県支部からは、奈良県福祉部に働きかけていますが、活発な活動はしていません。皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCN）からは何かの働きかけが必要と痛感していますとのことで、支部としましては今後何らかの活動を行いたいと思います。

奈良県老人福祉施設協議会、日本ヘルパー協会奈良県支部、奈良県老人保健施設協議会、奈良県介護福祉会等へ聞き取り調査を行いました。オストミーに関しての話題等はないとのことです。各施設において受け入れる場合、看護師から講習を受け対処しているとのことです。2025年には5人に1人が認知症を患うという状況において、

オストメイトが高齢により施設へお世話になったとき、在宅で寝たきりになり、ストーマ装具の交換ができなくなったとき、助けていただくのは介護職員や訪問看護師しかありませんので、ストーマケア研修をうけられた介護職の誰もが介護現場でストーマの交換ができるような体制に切望いたします。

★ ワールドオストミーデーの取り組みについて（広報活動）


オストメイトの存在を広く社会に知ってもらうことを目的に、1993年から3年毎の10月第一土曜をワールドオストミーデーとすると、IOA大会決定したものです。

日本では当初、12月の初に障害者週間があり、イベントなどの開催は見送られていましたが、この度、平成30年10月6日（土）に全国的にオストメイトの存在を広く知ってもらおうと各地で多様な取り組みを行うこととなりました。啓発活動は広く一般市民の方々を対象としたものを各支部の状況に合わせ実施することとなりました。

奈良県支部はオストミーの存在を広く知っていただくため、各市町村・医療関係にポスター掲示の依頼を推し進めています。また、広く一般市民に周知していただくために、障害者週間に近鉄電車の奈良駅、八木駅にポスターを掲載しました。また、近鉄奈良駅・JR奈良駅・八木駅において一万個のポケットティッシュを配布する事業を行っています。オストメイトの理解とともに、広く社会の理解を得ることが必要であり、気兼ねない入浴やトイレの利用、あるいは災害時の装具やトイレの備蓄など、これらはオストメイトが安心して暮らせる社会の実現のため、広く社会全般に伝え理解と共感を得なければならないと思っております。

今後ともがん対策と並行して災害対策・介護対策にお力添えをお願いいたします。

オストメイトのみなさんへ



消化器系ストーマ
尿路系ストーマ
を
造設された方へ

人工肛門・人工膀胱の人の集まりに参加しませんか

今日よりも、明日の生活をもっと快適に

あなたのオストメイト ライフでの
ストーマケアと支部会員との交流
を深めます。ご参加をお待ちします。



公益社団法人

日本オストミー協会

奈良県支部



このマークは
対応トイレ等の
設備があること
を示す場合など
に使用されてい
ます。

お問い合わせ先 ▶ TEL/FAX 0742-49-1839

④

奈良県議会がん対策推進議員連盟とがん患者会との懇談会資料

平成 29 年 12 月 20 日
NCN(奈良キヤンサーネットワーク)若草の会
代表 西垣 京子
役員 神田裕美子

本日はこの様にごん患者会との話し合いの場をいただき誠にありがとうございます。
平成 29 年度予算編成では、がん対策に関する要望書を県知事様にご提出いただきまして
ありがとうございました。

ご提出いただきました要望書の 7 項目の内 NCN 若草の会よりの要望 3 項目「がん医療提
供体制の整備」「就労の支援」「がん教育の充実」を記載していただきありがとうございました。

- 1) がん医療提供体制の整備につきましては、
血液のがん患者が県内で医療が受けることができるよう血液内科を有する医療機関の
充実として、来春新しい場所に移転いたします奈良県総合医療センターに血液内科が
出来るとのこととございます。8 年間言い続けてこられた血液のがん患者さん達の声
を届けていただきありがとうございます。
- 2) 就労の支援につきましては、
平成 30 年～35 年度の 6 年間を期間とする第 3 期奈良県がん対策推進計画のなかで、
具体的に取り組む分野別施策に「就労を含む社会的問題への対応」とあり、がん患者
は安心して働くことが出来るものと捉えております。
- 3) がん教育の充実につきましても、
奈良県の全体目標であります、「全ての県民ががんを知り、がんと向き合い希望を持っ
て暮らせる地域共生社会をつくる」とありますように、教師の研修と外部講師など
による教育で小学生から高校生まで、がん教育でがんを知ることが出来ますことを今後と
もお願いいたします。

【患者の声・要望】

- (1) 都道府県がん診療連携拠点病院および地域診療連携拠点病院に週に 1 回程度の
外来での夜間治療が受けられることをお願いいたしたく思います。

④

→ 全県別の内服もあろ

肺がん患者会

第4回

肺ゆう会～奈良～

参加費：無料
定員：30名
要申込み

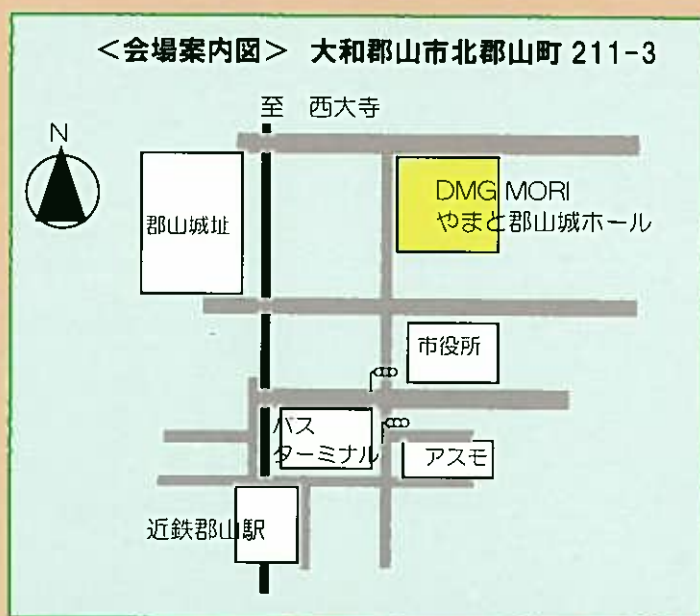
肺がんの患者さん、ご家族の皆さん
よよいよ療養のための情報交換をしませんか。

日時；2017年11月26日（日）

13：30～15：30（受付13：15～）

会場；DMG MORI やまと郡山城ホール 2F 会議室 C

（近鉄郡山駅下車 北へ徒歩7分・有料P有り）



参加申し込みは下記連絡先へ

FAX・電話・ハガキのいずれかで
<お名前・ご住所・お電話番号>をお
知らせください。

定員を超えたときのみご連絡を差し
上げます。

会場地域に警報が発表されていると
きは中止いたします。

主催 肺ゆう会～奈良～

連絡先 〒639-1001 奈良県大和郡山市九条町 512-20

松浦

電話 090-8983-1285

FAX 0743-53-5828

がん患者・家族交流会



第23回

サロンなぎ

参加費
無料

先着25人
要申込み

日時：2017年11月19日（日）

13：30～15：30（受付13：15～）

会場：DMG MORI やまと郡山城ホール 会議室B

（大和郡山市北郡山町 211-3 近鉄郡山駅下車 北へ徒歩7分）

第1部 講演 「医師に思いを伝えたからこそ、今がある」

介護士・乳がんサバイバー 垣本志津枝氏

「治療の主体は私！！」、貫いたからこそ今の私がある。
医師とのコミュニケーションにも垣本さんの前向きな生き方が伝わってきます。

第2部 患者・家族交流会

垣本志津枝さんと一緒に、がんであっても今を大切に
自分らしく過ごすための情報交換をしましょう！！
がんであっても自分らしく過ごせることは
あなたの療養生活を支える大きな力になります。

参加対象：がん患者、家族、医療・福祉関係者など



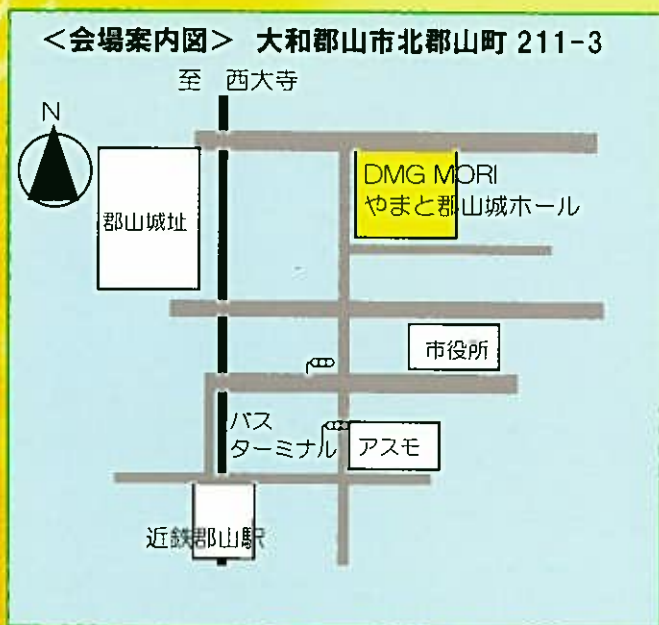
参加申し込み

はがき、Fax、電話いずれかで下記へ
お名前・ご住所・お電話番号をお知らせください。

定員を超えたときのみご連絡を差し上げ
ます。
奈良県北部に気象警報が発表されてい
るときは中止いたします。

◆お申し込み・お問い合わせ◆

奈良がんピアサポートなぎの会
〒639-1001 奈良県大和郡山市九条町 512-20
電話 090-8983-1285
Fax 0743-53-5828
担当 松浦



主催 奈良がんピアサポートなぎの会



がん患者・家族交流会

第25回

サロンなぎ

参加費
無料

先着25人
要申込み

日時：2018年2月18日（日）

13：30～15：30（受付13：15～）

会場：DMG MORI やまと郡山城ホール 会議室 A

（大和郡山市北郡山町 211-3 近鉄郡山駅下車 北へ徒歩7分）

第1部 慈瞳さんのお話とオカリナ演奏

「いのちのおわりのつづきはなし」

NHK やまと尼寺精進日記でおなじみの桜井音羽山観音寺 副住職 佐々木慈瞳さん、がん拠点病院等でがん患者さんの緩和ケアにもあたっておられます。慈瞳さんのお話と、オカリナの調べ…リクエストにもお応えして頂けるそうです。

第2部 患者・家族交流会

がんであっても今を大切に
自分らしく過ごすための情報交換をしましょう！！
がんであっても自分らしく過ごせることは
あなたの療養生活を支える大きな力になります。

参加対象：がん患者・家族、医療・福祉関係者など

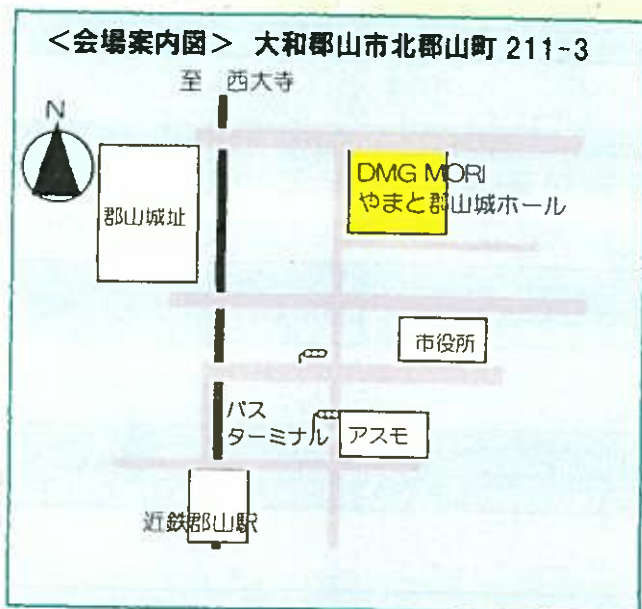
参加申し込み

はがき、Fax、電話いずれかで下記へ
お名前・ご住所・お電話番号をお知らせください。

定員を超えたときのみご連絡を差し上げます。
奈良県北西部に気象警報が発表されているときは中止いたします。

◆お申し込み・お問い合わせ◆

奈良がんピアサポートなぎの会
〒639-1001 奈良県大和郡山市九条町 512-20
電話 090-8983-1285
Fax 0743-53-5828
担当 松浦



主催 奈良がんピアサポートなぎの会

提出期限：12月11日（月）

奈良県議会事務局政務調査課 御中

FAX番号：0742-23-1404

「がん患者会との懇談会」について

氏 名	出 欠	備 考
清 水 勉	出席・欠席	

※ 出欠欄は、該当するところを○で囲んでください。

- 1 日 時 平成29年12月20日（水） 午前10時～
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 内 容
 - ・第3期奈良県がん対策推進計画の策定状況(奈良県保健予防課)
 - ・がん患者会との意見交換